

2016年11月10日

カザネシュティ村「子どもデイケアセンター」に対する支援（2016年度）

一般社団法人モルドバジャパン

モルドバでは、人口のおよそ3分の1が出稼ぎのため長期に亘り国外に出て行ってしまおうとされています。家に残された子供たちは思春期を孤独なうちに過ごさねばなりません。モルドバジャパンは2015年9月に任意団体として発足した当初より、こうしたモルドバの子供たちの生活・教育環境向上への協力の一環として、首都キシナウから100 km北に位置するカザネシュティ村の学童保育施設「子どもデイケアセンター」への支援を実施しています。センターは同村の小学校内に置かれていますが、全校生徒の中から特に家庭が貧しい子どもや、両親がともに国外に出稼ぎに行っている子供たちなど毎年およそ30名（2016学校年度は27名）を対象に、放課後に宿題、給食の世話をしています。

2016年10月、モルドバジャパン両宮会長がモルドバを訪問した機会に、川村理事と共に、同センターに対する2016年支援事業として以下の活動を行いました。

1. 子どもデイケアセンター視察

両宮会長及び川村理事両名が、10月15日、同センター運営責任者であるライサ・ブラドゥツァーヌモルドバ日本文化文明協会理事長の案内で、センターを訪問しました。センターでは子供たちの学習発表会及び昼食会に参加すると共に、カザネシュティ村小学校の校長先生始め現場の先生方との親交を深め、子供たちの学習や学校での生活の様子を視察しました。

これまで、学習発表会は担任の先生が決定したプログラム内容に沿って行われてきましたが、今回は先生が都合により参加できなかったため、子どもたちのみでプログラムを決定したとのことでした。7年生のヴァレリアさんとフランチェスカさんが中心となって考えてくれたとのこと、日本語での自己紹介や、ルーマニア語の歌や詩、また覚えた日本語の単語を皆はりきって披露してくれました。その他、自主的に練習した今時のバラード系音楽に乗ってダンスを披露してくれたり、また両宮及び川村も一緒になって輪ダンスに参加し、子どもたちと共に楽しい時間を過ごすことができました。子どもたちは一様に元気で明るく、センターでの学習を楽しんでくれているようでした。また、例年通り、子どもたちが普段食べている美味しい給食もご馳走になり、給食のおばさま方やセンター運営関係者の愛情をたっぷり感じることができました。

センターへの参加を希望する子どもは絶えないようで、教室の広さの関係上、全員を受け入れることはできないものの、欠席者が出た場合などに一時的に受け入れるなどして柔軟に対応しているとのことでした。センターは学習面・栄養面・精神面で子どもたちを保護するという、捉え方によっては少し重々しいイメージの場所ではなく、子どもたちにとって生活を明るいものにするのできる楽しい学習の場になっていることを改めて認識することができました。

2. センター運営費支援

10月15日、センター視察に引き続き同センター運営責任者であるライサ・ブラドツァーナ氏と共にデイケアセンター運営実績及び今後の予定等について意見交換を行うと共に、モルドバジャパン2016年度支援金として、当初計画の\$3,000に加え、同月13日同市サラ・ク・オルガ音楽堂において開催された「フジコ・ヘミング モルドバ公演」の入場料収入\$439をヘミング女史のご厚意により追加交付することができましたので、合わせて\$3,439をセンターに贈ることができました。

(参考)

(1) 同センター2016年運営費総額見込みはおよそ\$6,000。モルドバジャパンの支援額\$3,439はその57%に相当します。これらの運営費は、給食費、光熱費、現地運営関係者給与（ボランティア相当額）、文房具等学習資材、新年等の子どもたちへの贈り物、運営責任者交通費、運営関連予備費に充てられます。

(2) 10月13日サラ・ク・オルガ音楽堂開催された「フジコ・ヘミング モルドバ公演」には、昨年に引き続きセンターの子供たちを招待する計画でしたが、急激な温度の低下及び折からの激しい風雨のため子供たちの安全を優先したいというセンター側運営責任者の判断を受け、今回の招待は急遽中止と致しました。

(以上)



2016 年度運営費支援の交付



校舎入口での歓迎の様子
(摘んできた庭の花を一人一人贈呈)





今回教師役となった7年生のヴァレリアさん
(中央)とフランチェスカさん(左)



ルーマニア語の詩の暗唱



ルーマニア語の歌の披露



子どもたちと輪ダンス



サイコロに書かれた数字を素早く日本語で言うゲームに集中する子どもたち



投げられたサイコロに書かれたカテゴリー（動物、色、数字等）に当てはまる日本語を言うゲームに集中する子どもたち



覚えた俳句の発表に元気よく手を挙げる子どもたち



自主的に練習したダンスを披露する子どもたち



ご馳走になった給食メニュー（ザマ（自家製麺入り鶏肉スープ）、自家製甘酢漬け野菜、自家製サワーチェリージュース）